

県議会だよりとくしま

定例会の概要

平成29年2月徳島県議会
(会期2月15日～3月13日)

開会日には、平成29年度当初予算などが提案され、新次元の消費者行政の展開、ドイツ二国アーカセン州との友好交流推進などの重要課題についてオフィスプロジェクト等による地方創生の推進、幹線道路や都市公園等の整備促進、インバウンド等の観光振興やにぎわい創出による経済活性化策、若手人材の育成による農業振興策や鳥獣被害対策、キャリア教育の推進や学校整備方針等の教育施策などについて論議しました。

今定例会では、「とくしま藍の日を定める条例」等の条例の制定2件、改正1件、「車両運転時の携帯電話使用に関する罰則強化等を求める意見書」等の意見書4件を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案74件を原案どおり可決・同意しました。

代表質問から
代表質問



岡 佑樹

子供の医療費助成拡大により、市町村へのさらなる後押しを

明政委
（民主党・自由民主党・国民民主党）

にし阿波全体が潤う

観光振興を

（自由民主党・国民民主党）

地域商社阿波ふうどがショール等による販路拡大などにより、

地域の常設展示販売会場を開拓する

取り組みを加速する。

今年度オーブンする首都圏での常設展示販売会場を核とした、いよいよアーバン型の取り組みを加速する。

やいこボスや在宅勤務実証実験を

展開、長時間労働の是正に向かう新たな戦略を展開する。

県産品メニューフェアの開催や新規車両で行う試食会、

地域商社阿波ふうどがショール等による販路拡大などにより、

取り組みを加速する。

年間3億円の超過勤務手

を准める上でも働き方改革の実現を目指す。

公私ともに、取り組むこと

で、年間3億円の超過勤務手

を准める上でも働き方改革の実現を目指す。

公私ともに、取り組むこと

で、年間3億円の超過勤務手